

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

9月議会報告
第66号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753

LRT

1km^{当り} 33億円
1mに333万円

高齢者外出応援
バス代軽減に税金を!



荒川つねお議員

9月定例議会、一般質問に荒川つねお議員が登壇。LRT工事着工に向けての議案が提出されたもとの、民意なき大暴走に立ちほだかり、市民の声を代弁。市民のくらし・福祉を守る提案・LRT事業のさらなる実態を市民の前に明らかにしました。(要旨)

① LRTと市民のくらし

他市では片道1000円

まち中へ「おでかけ定期券」

荒川つねお議員

多くの高齢者の願いは「LRTよりも高いバス代、何とかしてー」だ。富山市では、まち中に外出するのに、バス代等片道百円の「おでかけ定期券」がある。江曾島駅等エレベーターを設置すれば安い運賃の鉄道利用ができる。自動車免許自主返納者への応援もない。LRTが走るのを待たねばならない理由はない。LRTには、巨額の貯めこんだ基金を取り崩しながら、一方で年間たった一回の五千円バスカードで、いつまで外出応援がまんさせているのか。

酒井典久保健福祉部長

五千円バスカード事業は、高齢者の外出きつ

荒川つねお議員

運転免許自主返納者への支援は県内19市町で行われている。鹿沼市では、市バスは生涯無料乗車券です。LRTにはお金の糸目をつけず、ここには全くやる気がないのか。

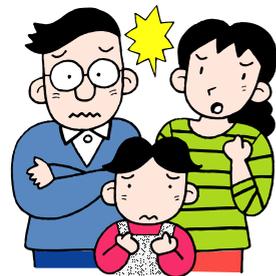
伊沢敏一市民まじゅり部長

公共交通の整備と自主返納につながる具体的な支援事業の検討を早期に進めてまいります。

② LRTと市民負担

新たな市民負担あり

「黒字」にカラクリあり



荒川つねお議員

市は、これまで年当り最大13億円・20年間、それ以外の増税や新たな市民負担はない。宇都宮フットボール(株)も開業後まもなく黒字と市民に説明してきた。

飯塚由貴雄建設部長

しかし、それにはカラクリがある。減価償却費分(車両の買いかえや鉄道施設の維持などに、毎年積立、将来に備える費用)を含めて市民負担の説明をすべきた。

荒川つねお議員

また、その減価償却費を試算すると毎年度のくらくらになるのか。

減価償却費試算
年間16億円にも

荒川つねお議員

減価償却費に見合う分は一般会計で手当てする



荒川つねお議員

公設型上下分離方式を採用し軌道や施設・車両などの整備・維持更新費は適宜議会・市民に示していく。

飯塚由貴雄建設部長

※減価償却費の試算については具体的な答弁なし。

荒川つねお議員

宇都宮市民と芳賀町民に対して、新たな負担はないのではなく、大きな負担をこれからずっとしてゆくことになることをきちんと説明せよ。

国保 制度変わっても
国保税引き上げはダメ!!

荒川つねお議員は、国民健康保険が来年度から都道府県運営化への制度改革が行われても「高すぎる国保税の値上げは行うべきではない」との態度を買っていました。

今回の質問では、栃木県が8月末に示した本市の国保事業費納付金の試算結果について「市民が払える国保税となるのか?」また、これまでの国保税引き上げを押さえてきた一般会計からの繰り入れについて質しました。

荒川議員は、医療、介護、年金など社会保障の改善、非正規拡大などで働く貧困者が増え、貧困は深刻化していると指摘。市民が生活に困ったとき、条件に応じて誰もが利用できるのが生活保護。憲法で保障された国民一人一人の権利であり、それを正しく運用するのは国、そして、本市の行政の責任であると指摘。

生保 市民を守る、最後のセーフティネットを問う

申請は法に基づき
していない対応を

- ① 小田原市での生活保護担当職員ぐるみの「保護なめんなよ」ジャンパー着用等による受給者、相談者を威圧した事件について、市長は問題の本質
- ② 日本の生活保護捕提率は、先進国と比べてはるかに低い。申請保護の原則に立った正確な対応がなされているのか。
- ③ 迅速な保護決定のため法定期限14日以内はどのようなになっているのか。
- ④ 職員の内、社会福祉士と社会福祉士の配置状況は
- ⑤ 職員の経験年数と担当世帯数の現状について
- ⑥ ケースワーカーに対する査察指導員の配置数は



討論をする福田くみ子議員

LRTありきの大暴走に大義なし!

福田くみ子議員が2016年度決算・討論 (要旨)

強い財政力は福祉や教育にこそ最優先に

宇都宮市の財政力指数0.975第3位、自主財源比率62.1%4位(いづれも中核市中)。強い財政力を、身近な暮らしを支える保育や教育、医療や介護、地域経済を支えるために生かしているとは言えない。

第1の理由
LRT事業は、新たな開発競争に道を開くまやかしの仕掛け

H27年までのLRT関連費用総額は26億5,532万円余。昨年度は、91億2,309万円余もの当初予算を組みながら、決算額は12億4,564万円余、減額補正は83億8,610万円余。83%も減額補正せざるをえなかったのは、市民に負担ばかりのLRT事業に大義がない証し!

ネットワーク型コンパクトシティ形成に不可欠な仕組みと云うが、むしろ新たな開発競争に道を開くまやかしの仕掛けではないか。人口減少時代に市民がほしがってこない莫大なインフラに巨額の投資は筋違い。

地域内交通や「いきいき70」にはわずかな補助金

一方で、地域内交通13路線には補助金は7,634万円余。高齢者専用バスカード「いきいき70」には、25,137人が購入し補助金は、8,120万円余。それらの費用対効果は絶大で、地域や個人の負担軽減・補助金の増額など拡充を求められている。



バスカード「いきいき70」

第2の理由
不十分なマンパワー

市民1,000人当たりの職員数は5.63人で中核市中少ない方から13位、毎年じりじりと減り続けている。(全国平均は6.21人) 消防職員の配置は、国の指針の8割、保健師や最後のセーフティネットを担う生活保護ケースワーカーの増員、消費生活相談員や非正規学校職員の待遇改善など、不十分であると指摘。

第3の理由
高すぎる国保税

滞納者の44%は所得なし世帯。資格証明書3,055件、短期被保険者証は3,235件。滞納者へのペナルティは重大な人権侵害。以上3つの角度から16年度決算を認定できない理由を述べた。

北朝鮮のミサイル抗議決議 全会一致で採択

対話による解決を

9月定例会の開会日、「北朝鮮弾道ミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で採択しました。決議は北朝鮮のミサイル発射を「世界と地域の平和にとって重大な危機であり、度重なる国連安保理などに違反する暴挙だ」と厳しく批判。対案として「経済制裁の厳格実施・強化とあわせて、対話による解決の道を粘り強く追求する」を求めると強調しています。

共産党市議員団が提案 道義ある提案で賛同

日本共産党宇都宮市議員団は、ミサイル問題が起きた8月29日、宇都宮市議会としての意見表明をすみやかに

行うべきと判断、その日のうちに原案を作成し、各会派に働きかけました。3名以上を正式会派の要件としている宇都宮市議会では、日本共産党市議員団は、議会運営委員会の正式委員と認められていないため、「提案議員」とはなれませんが、党議員団発案の決議は、9月1日の開会日の本会議で全会一致の賛同を得て決議されました。

市議員団幹事長の福田くみ子議員は、「原案の内容は、共産党の志位和夫委員長の声明に基づき作成しました。すみやかな決議採択に至ったのは、道義ある提案が市議会でも賛同を得られたものと確信を持ちました。」と述べています。

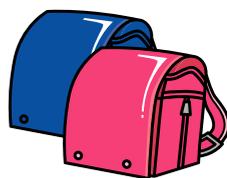
新入学学用品費でランドセルが買えます!!

就学援助制度 改善すすむ

福田くみ子議員が提案 入学前の3月支給が実現

一つは、就学援助制度の入学準備金が小学校入学前の3月に繰上支給されることとなりました。一人当たり4万600円、230名程度の支給を見込んで、933万円余を含む補正予算が全会一致で可決成立しました。

申請は、市ホームページや広報誌、各小学校で実施する就学時健康診断時に案内し、教育委員会に直接申し込むことになりました。受け付けは一月末日まで、二月中に審査、認定し三月上旬には支給される見込みです。



市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等とじしお寄せ下さい。

えーっ今年も行くの? 海外視察!

今年の視察先は、*スイス(チューリッヒ、バーゼル)*フランス(ミュルーズ)*ドイツ(フライブルク・ダルムシュタット)



ヨーロッパの3か国5都市に11月5日~11日の日程で実施。

メンバーは【団長】南木清一氏(自)【副団長】小林紀夫氏(自)【団員】角田充由氏(自)篠崎圭一氏(自)・内藤良弘氏(自)・山崎昌子氏(自)村田雅彦氏(公)工藤稔行氏(公) 計8名が参加します。

交通政策やまちづくり、環境政策等について視察し、視察後には報告会を開くとのこと。 (一般市民向けに開くかは、現時点では不明)

日本共産党は、市議会議員の海外視察は、費用対効果の面から必要なしと考えています。議員が見聞を広げることは大切ですが、歴史や文化、民度が全く違う海外を視察しても市政にもたらす効果は、少ないものと考えからず。議員特権の海外旅行と言わざるをえません。

みなさんはどのように考えますか?

定例無料 市政・法律なんでも相談会

■11月11日(土) 市総合コミセン2階会議室
■12月9日(土) 市総合コミセン2階会議室

※1月の相談会はお休みさせていただきます。
※時間は午後2時~4時
※弁護士が協力します。プライバシー厳守
※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。
日本共産党宇都宮市議員団
電話 632-2622 FAX 632-7753
電話 634-8722 (休日夜間など)